

Shokuhin News Neo -2023 December-

神戸大学大学院 農学研究科 生命機能科学専攻 食品・栄養化学研究室

〒657-8501 兵庫県神戸市灘区六甲台町 1-1 自然科学総合研究棟 2 号館 211 号室

電話 078-803-6553 E-mail: shoku@kobe-u.ac.jp http://www.kobe-u.ac.jp/shokuhin

News

縦コン

12月20日(水)に応用生命化学コース(講座)の教員と学部3年以上の学生による縦割コンパ(縦コン)が、学内の和風レストランさくらで開催された。縦コンでは研究室に既に配属されている4年生や院生から3年生に対する研究室の勧誘が行われた。さくらでの縦コン終了後には、3年生が興味をもった農学棟などの研究室を訪問し、研究室の裏話などを詳しく聞く(探る)縦コン二次会が引き続き行われた。私たちは、訪問してくる3年生だけでなく、さらに他の研究室訪問中の学生を引き抜くために農学部棟を放浪していたところ、かつての先生方が集結したアルバム(?)を発見した。その中には若き日の橋本先生もいた。



昔のアルバムに載っていた笑顔の橋本先生

この縦コンでは、想定していたよりも多くの学生と話すことができ、感触としてはまずまずの出来ではないかと思う。来年度からどのような学生たちが配属されるのか楽しみだ。

クリスマス会&忘年会

12月25日(月)、世間はクリスマスで煌びやかな雰囲気につつまれている中、私たちは毎月恒例の報告会に臨んだ。B4や M2学生は、それぞれ卒業論文や修士論

文提出前にやり残した追加実験に追われる中、その結果を評価され、グツタリするような報告会になった。。。しかし！報告会の後は世間と同様に待ちに待ったクリスマスパーティー兼忘年会が開催された。ローストチキンにシャンパン、クリスマスケーキに加え、藍原先生自作のテリーヌなどなど錚々たる食事が並んだ。



クリスマスパーティー兼忘年会で用意された食事

橋本先生のたつての要望で、水道橋商店街に出向いてお造り盛り合わせを用意した。赤身のマグロにシソの緑が、クリスマスの食卓を彩り、すべての魚介類が新鮮で美味しい。さすがは水道橋商店街である。パーティーはクリスマスを感じつつ今年の出来事を振り返る良い時間となり、楽しいひと時を過ごせた。



茶目っ気な姿を見せる田中遼(M2)

フリートークスペース

今月のフリートーク担当は M1の柏原正宗です。自身でも作るほどハマっているカレーについて紹介してくれました。

こんにちは、M1 柏原です。12月のフリートークを担当させていただきます。早いもので2023年も終わりを迎えますね。2024年は辰年です。僕は2000年生まれなので、年男になります。来年は海外旅行にでも行きたいですね。それではフリートーク気張っていきましょう～！

最近ではカレーにはまっています。美味しいお店をめぐるのも、自分で色んなスパイスを用いて1から作るのも楽しく、就職活動の合間の息抜きになっていますね。

そこで今回は神戸にあるおすすめのカレー屋さんを紹介していきたいと思います。

まずは、JR元町駅から徒歩5分のところにあり「Cafe + Curry Rajikumari(ラジクマリ)」です！このお店は、「チーズカレーとテリーヌショコラのお店」としてカレーだけでなくカフェとしても楽しめるお店です。「神戸カレー食堂ラジクマール」という有名な神戸のカレー屋さんの姉妹店で、ここ2、3年前に OPEN したそうです。

もちろん、この姉妹店も行ったことはあるのですが、かなりしっかりとしたスパイスカレーなので、辛いものが得意な方はぜひ食べてみてください！もちろん店員さんに言えばあまり辛くないようなカレーを教えてください！下の写真を撮った時に店を訪れたときには、バターチキンカレーというオーソドックスなカレーにしました。テリーヌショコラもいつか食べてみたいですね。



「ラージクマール」のバターチキンカレー

二軒目は、阪急王子公園駅から徒歩1分の近さにあります「カラピンチャ」です！ここは僕の住む阪急王子公園駅のすぐ傍に店を構えるスリランカカレーのお店です。外装も非常におしゃれで、この時はいい店を開拓したなあという感動が大きかったですね。自分の住む近くにこんないいお店があるとはまだまだ開拓しがいがありそうです。

店員さんのほとんどが中東系の人ばかりで店内の内装も相まって異国情緒な感じがしましたね。スリランカに旅行に来た気分でした。

さっき調べると食べログの百名店にも選ばれていました。すごいですねえ。この時は何カレーだったのか忘れてしまいましたが、週替わりカレーを食べた気がします。ご飯の上に様々な副菜？が乗っていて、見ていても楽しいですね。



「カラピンチャ」の日替わりカレー

研究室でも僕がたまにカレーを作ったりすると思いますので、それをきっかけに皆さんもぜひカレー作りにチャレンジしてみてください。

そして、ぜひ一緒に作りましょう。
柏原でした。

編集後記

定期的にイベントが開催されることもあり研究室内の仲が非常に深まった1年だった。今年度があと数ヶ月で終わってしまう実感はなかなか湧かないが、最後まで全力で駆け抜けたい。

畑田一成(B4)